

平成25年3月21日

保護者 様

我孫子市立白山中学校
校長 丸 智 彦

「学校評価アンケート」について

平成24年度も残すところあとわずかとなりました。この間、保護者の皆様方、地域の皆様方には、本校に対しまして温かいご指導とご支援を賜りまして誠にありがとうございました。最後の最後に、子ども達、皆様方の信頼を裏切る大変な事故を起こしてしまい、謝罪で済まされない問題と承知しておりますが、深く反省しております。今後、二度と同じ事故を起こさないための方策を職員と共に考え、皆様方にご報告してまいります。誠に申し訳ありませんでした。

さて、今年度の学校評価アンケートの集計が出来上がりましたので、ご報告いたします。今年度は、学校教育目標『みがき合い・支え合う、心豊かでたくましく生きる生徒を育てる』を目標に、下記の3つの重点目標を掲げ実施してまいりました。

- 1 あいさつと思いやりに溢れる学校
- 2 卒業までの3年間を見通した学習指導の徹底
- 3 何でも話し合える環境作り（生徒・保護者・教職員）

1の項目の「あいさつ」では、あいさつ運動の実施や子ども達の意識の高揚から、昨年度に比べ良かったと感じています。地域の皆様からも、子ども達にお褒めの言葉を頂いています。また、地域の方が励ましの言葉を子ども達に投げかけると、必ず「ありがとうございます」と返してくれて、とても清々しい気持ちになったと聞いています。「思いやり」の面では、今年度、残念ながら数件のいじめが発覚しました。我々教職員としては、今後ともアンテナを高く持ち、子ども達の言葉や様子に敏感になることが必要と感じています。また、子ども達には「いじめを絶対にしない、させない、見逃さない、許さない。」を、心に響くように引き続き話していきたいと思っております。保護者の皆様方には、家庭での様子で気になることがあれば、即、担任等にご連絡願います。

2の項目の「学習指導の徹底」では、子ども達には、わからないことをそのままにしない、後で振り返った時にわかるノートづくり、家庭学習（授業の振り返り学習）の充実を話してきました。学習の仕方のわからない子には、文章等で説明してまいりましたが、大変差が大きいと感じています。今後とも、きめ細かい指導をしていきます。一方、教職員は、子ども達が活躍する・わかる・できる授業づくりを推進してまいりましたが、まだまだの感が否めません。同一教科部会内の横の連携を図り学習カードやワークシート等の共有化、興味関心を高めるための一層の創意工夫、補習、テスト前の学習会の実施等、今後とも充実させていきます。

3の項目は、「生徒・保護者・教職員の良好な関係を構築し生徒理解に努めたい」という意味から掲げました。いかがであったでしょうか。私は職員間に差があったと反省しています。保護者と教職員とが（良好な関係を保つこと）及び（情報を共有すること）が、子ども達の健全育成にとって何よりも大切であると感じています。ここが原点と思っております。今後とも傾聴の姿勢を持って対応してまいりますので、どんな些細な点であってもご連絡願います。

個々のアンケート結果には触れませんでした。この結果を本校への期待と捉え、真摯に受け止めて取り組んでまいります。我々教職員の業務は、全てが子ども達のためです。このことを忘れずに、日々の業務にあたってまいります。一年間ありがとうございました。

尚、学校ホームページに結果のグラフを載せましたのでそちらもご覧下さい。